

「うちの会社には関係ない」 と思っていないませんか？ GX参入の可能性を探る ～半導体関連産業と資源循環関連産業の事例から～

県内企業による脱炭素化への対応を「成長の機会」へと転換し、各企業の競争力向上を図るため、半導体関連産業への参入事例やホタテ貝殻を再利用した製品開発事例を紹介します。また、県内企業におけるGX（グリーントランスフォーメーション）関連産業への参入課題と解決の方向性について解説します。

開催日時	会場	対象
令和8年8月31日（月） 13:30～16:30	ウェディングプラザアラスカ （青森市新町1丁目11-22） 定員：70名	企業、大学、 研究機関、 支援機関 等

プログラム ※Zoomによるオンライン聴講も可能です。

- 13:30 開会・主催者挨拶
- 13:35～14:25 プログラム①「半導体・AI時代に地域企業はどう動くか
～熊本の事例と課題から～」
講師：金剛株式会社（熊本県） 代表取締役社長 田中 稔彦 氏
- 14:30～15:20 プログラム②「廃棄物を活用した新素材開発への挑戦」
講師：甲子化学工業株式会社（大阪府） 企画開発部長 南原 徹也 氏
- 15:30～15:50 プログラム③「県内中小企業のGX関連産業への参入課題と解決の方向性」
講師：株式会社八戸インテリジェントプラザ 常務取締役所長 松坂 洋司 氏
- 15:50～16:00 大学・研究機関等の研究シーズブックの紹介
説明：青森県経済産業部地域企業支援課
- 16:00 閉会
- 16:00～16:30 ネットワーキング（名刺交換）

お申込み方法

申込締切 令和8年8月25日（火）

下記「二次元コード」又は「アドレス」から申込フォームにアクセスし、必要事項をご入力願います。

申込フォーム



申込フォームのアドレス

<https://forms.gle/sVB1N1debWorcQrq5>

主催



青森県

業務委託先



（公財）21 あおもり産業総合支援センター
【お問合せ先】総合支援課（担当：葛西）

TEL:017-777-4066

講師紹介

○金剛株式会社

代表取締役社長 田中 稔彦 氏

- ・金剛株式会社は、国立国会図書館、国立博物館、大学図書館などに書架・収蔵庫を納めている。平成28年熊本地震の被災経験を活かし、「想定外」を「想定内」に変えて製品開発に取り組んでいる。田中氏は平成21年10月に金剛株式会社 代表取締役社長に就任し、令和3年5月には一般社団法人熊本県工業連合会の代表理事 会長を務め、2期4年の任期を終えて現在は相談役に就いている。また、半導体受託製造世界最大手「台湾積体回路製造」(TSMC) の新工場誘致・建設を受けて産官学を通じた受入態勢作りに奔走している。



昭和57年 (株)熊本県民テレビに入社し、報道制作部記者としてキャリアをスタート

平成21年 金剛(株)の代表取締役社長に就任

令和3年 熊本県工業連合会の代表理事会長に就任（令和7年に退任し現在は相談役）

○甲子化学工業株式会社

企画開発部長 南原 徹也 氏

- ・オフィス家具部品を中心に多彩なプラスチック製品を製造する当社は、企業や大学との連携により、ホタテ貝殻を再利用したヘルメットやベンチなどの製品開発を行っている。また、青森県産業イノベーション推進課の令和6年度オープンイノベーション共創プログラムにおいて、(株)山神の共創パートナー企業として商品開発に取り組んでいる。



平成22年 大手ゼネコン企業に入社し、建設現場での施工管理・大型機械の設置計画などの仕事に従事

平成31年 甲子化学工業(株)に入社し、製造部に配属

令和3年 新設された企画開発部主任を経て、企画開発部長に就任

○株式会社八戸インテリジェントプラザ

常務取締役所長 松坂 洋司 氏

- ・令和4年4月に八戸地域の産業界が主体となって立ち上げた「八戸地域新ゼロエミッション協議会」の事務局長に就任し、カーボンニュートラルに向けた課題の共有や解決策の検討を行っている。また、令和8年4月からGX推進アドバイザーに就任し、GX関連技術に関する企業ニーズの掘り起こしや、大学・研究機関等の研究シーズとのマッチングに取り組んでいる。